



遊具が増えます

8月1日で、夏休みの水泳指導が終わり、今日の着衣水泳でプール指導が終了します。子どもたちの楽しみが、また一つ終わってしまいました。

学校では、夏休み期間を利用して、運動場に『タイヤとびコーナー』を設置しています。大小22本のタイヤを埋設し、子どもたちが自由に跳んで遊ぶものです。遊び方は工夫次第。今は工事の途中なので、写真のような状態ですが、2学期には、もう少し手を加えた形になります。

また、運動場西側に設置してあったバスケットゴールの位置が変わり、（ちょっとり小ぶりのバスケットコートですが）ゲームができるようになりました。

タイヤとびコーナー、バスケットコート。どちらも有効活用し、みんなで楽しく遊んでくださいね。



高学年向きかな??



リズムよく跳んでね



ただし、タイヤとびコーナーは
休み中は、未完成状態なので使用
禁止です。2学期の完成を楽しみ
にしてくださいね。

水辺の事故に要注意!!

8月に入って猛暑日が続く中、河川での水難事故が多発しています。県内では、7月初旬の小学生の水難事故に続いて、夏休み中、川遊びをしていた中学生が深みにはまるという重大事故が発生しました。秋竹小校区にも、注意を要する箇所があります。ご家庭でも話題にし、事故の無い楽しい夏休みにしていただきますようお願いいたします。

水辺のひやりはっとプラットフォーム

- 滑る…水際の護岸や浅瀬の石などは、表面にコケが付着しとても滑りやすくなっています。
- 転ぶ…水際は、平らな所がほとんど無く、平地で歩きなれている人間にとっては、予想外に転びやすいものです。また、浮石などでぐらつき、転んで捻挫や骨折をすることもあります。
- 落ちる…水際には草むらが生い茂っていることが多く、見通しが良くありません。陸地だと思って踏み込んだところが、既に川の上になっているということもあります。
- 深みにはまる…一般的に岸から川の中央に向かって深くなっていると思われていますが、地形等の影響で、川底が急にえぐれていたり、崖のように落ち込んでいるところがあります。流れが複雑になり、足を取られてパニックになったり、流れに引き込まれるとあせって溺れてしまいます。
- 流される…一見穏やかに見える川の流れも、中に入ると思った以上に流れは速いものです。また同じ川でも場所によって速さが違います。浅いからといって安心してしていると足をすくわれ深いところへ流されてしまうこともあります。